

警 防

令和4年度のできごと

北消防署に特別救助隊を発足

令和4年10月1日北消防署に本市3隊目となる特別救助隊を発足し、専門の教育を受けた12名が配属されました。

特に北消防署の管内では山岳救助事案が大津市全体の約60%、水難救助事案は50%発生しています。この特別救助隊の発足により、早期に災害現場へ到着することが可能となることに加え、活動隊数の増加により消防救助体制が強化されました。引き続き、指揮隊や消防隊、救急隊との連携を強化し、大津市民の安心、安全確保に努めます。



高規格救急車の更新

東消防署配備の高規格救急自動車
が更新されました。

車両に積載する資器材は、高度救命処置用資器材を含め全て最新型となり、室内の資器材収納スペースも改良しました。

年々増加する救急事案に対応すべく、車両、資器材の性能を最大限に活かし、市民の安心・安全に努めていきます。



ポンプ自動車の更新

南消防署南郷出張所配備のポンプ自動車
が更新され、運用を開始しました。

この車両は、最新の機能と装備が充実しており、600ℓの水槽と、圧縮空気砲消火装置(CAFS)を搭載しています。

CAFISは、少量の水と消火薬剤を混合した泡放水が可能で、効率的な消火活動が行えます。さらに、キャビンはハイルーフ仕様としたため、収納スペースが大幅に増加しました。

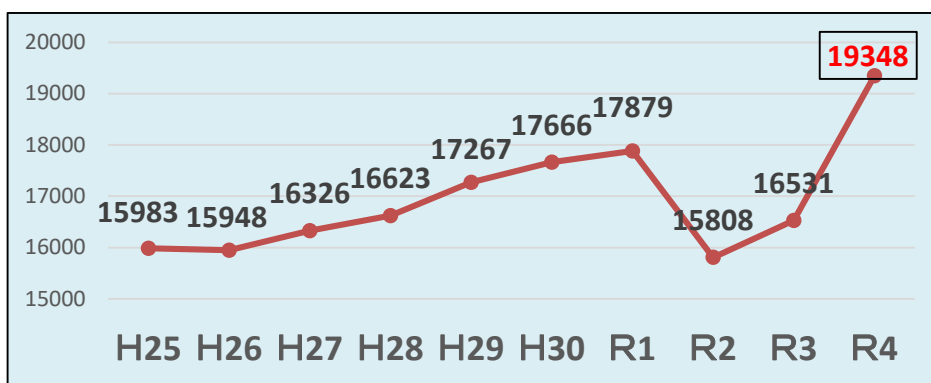


救急出動件数が過去最多を更新

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は7・8月の第7波を中心に救急出動要請が急増し、出動件数は過去最多の19,348件(前年比2,817件増)となりました。

こうした状況でも、当局では消防指令センターを中核として、臨機に隊の配置転換を行い、常に直近の救急隊を出動させるとともに、感染症患者の移送に際しては、日勤職員によるデイトタイム救急隊を出動させるなど、適時適切な対応を行いました。

今後も、各種感染症の流行等により救急出動要請が急増した場合でも、限られた救急資源を緊急性の高い事案に効率的に活用し、万全の対応を継続してまいります。



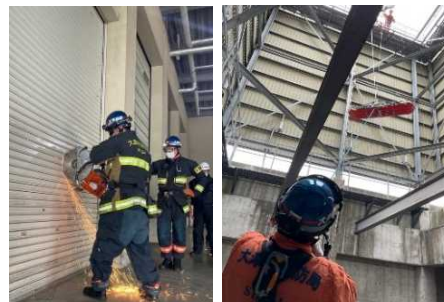
緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練を滋賀県で実施

令和4年10月15・16日の2日間、滋賀県長浜市をメイン会場として「緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練」が実施され、訓練企画から実働訓練の参加まで代表消防本部として多岐にわたり参画しました。訓練では近畿、中部地域の緊急消防援助隊182隊710名の隊員が参加し、実践的な訓練を実施しました。



解体前建築物を活用した消防活動訓練を実施

令和5年2月1・2日の2日間、閉店したイズミヤスーパーセンター堅田店を活用し、消防活動訓練を実施しました。この訓練では、実際の施設というリアルな環境下において、鉄扉やシャッターの破壊、高所からの救出、消防ホース延長等、実災害を想定した様々な実働訓練を実施しました。



出動状況

■ 消防自動車の出動状況

[令和4年中]

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	件数	9	7	11	4	5	3	4	7	9	6	10	11	86
	車両	38	46	60	20	31	20	25	21	33	35	61	68	458
	人員	111	136	170	59	86	57	70	58	94	108	173	196	1,318
救助	件数	12	19	20	27	19	22	20	24	13	27	14	12	229
	車両	53	91	109	160	96	135	118	154	59	140	62	56	1,233
	人員	156	270	311	469	275	367	316	411	160	394	185	157	3,471
警戒	件数	4	4	3	8	3	4	23	8	5	7	5	3	77
	車両	14	15	13	29	12	16	45	26	21	25	20	15	251
	人員	42	44	41	87	36	45	133	70	61	70	56	43	728
偵察	件数	8	7	8	5	8	13	9	19	7	15	8	8	115
	車両	23	21	25	16	26	37	27	55	22	41	32	24	349
	人員	70	61	71	47	72	101	72	148	59	125	97	68	991
水防	件数				1			6						7
	車両				4			6						10
	人員				8			18						26
救急支援	件数	104	96	86	69	84	72	95	96	73	83	79	130	1,067
	車両	212	201	175	145	186	148	192	213	147	174	173	271	2,237
	人員	655	602	522	430	552	443	564	626	436	533	517	801	6,681
訓練	件数			1	2				1	1	3	2		10
	車両			5	7				3	7	7	6		35
	人員			41	28				14	26	27	28		164
その他	件数	19	24	20	20	20	23	20	17	18	25	19	24	249
	車両	45	54	90	64	48	55	77	43	58	41	46	98	719
	人員	134	157	263	196	142	160	220	128	165	132	140	282	2,119

■ 消防艇の出動状況

[令和4年中]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災													-
救助				2	1	5	3	6	2				19
警戒	1												1
警備													-
訓練													-
調査													-
誤報													-
依頼													-
その他		1				1		1	1				4
合計	1	1	-	2	1	6	3	7	3	-	-	-	24

地区別消防水利の状況

[令和5年4月1日現在]

種別 学区別	消火栓			防火水そう					ブ ー ル	池 等	河 川 等	そ の 他	琵琶湖基準水位 ±0cm		
	計	150mm 以上	150mm 未満	計	100t 以上	60～ 100t	40～ 60t	20～ 40t					消防車		消防艇
													水利 箇所	延長 (m)	活動範囲 延長距離 (m)
北消防署 計	1,816	606	1,210	206	2	10	189	5	38	68	35	25	41	4,479	27,000
小松	246	72	174	16	-	-	16	-	7	8	-	5	7	1,140	8,000
木戸	216	60	156	27	-	1	25	1	5	5	1	11	4	630	5,000
和邇	238	33	205	26	-	-	26	-	4	20	3	3	6	1,360	7,500
小野	61	24	37	7	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
葛川	95	23	72	11	-	1	9	1	1	-	13	1	-	-	-
伊香立	181	33	148	35	1	2	31	1	6	5	6	1	-	-	-
真野北	64	38	26	14	-	-	14	-	2	-	-	-	-	-	-
真野	175	84	91	10	-	2	8	-	2	6	7	3	3	260	800
堅田	307	129	178	15	1	1	11	2	5	22	5	1	21	1,089	5,700
仰木	78	22	56	18	-	1	17	-	1	2	-	-	-	-	-
仰木の里	74	45	29	11	-	-	11	-	3	-	-	-	-	-	-
仰木の里東	81	43	38	16	-	2	14	-	1	-	-	-	-	-	-
中消防署 計	2,047	933	1,114	103	7	16	79	1	39	33	27	34	26	5,324	18,200
雄琴	171	77	94	16	-	1	14	1	2	5	2	-	4	578	5,800
日吉台	55	26	29	17	-	-	17	-	1	-	-	-	-	-	-
坂本	269	97	172	7	1	1	5	-	3	1	8	6	-	-	-
下阪本	200	65	135	6	-	1	5	-	3	6	4	1	6	316	4,000
唐崎	285	123	162	10	1	3	6	-	4	2	-	1	2	300	2,600
滋賀	269	102	167	10	2	1	7	-	4	3	-	5	2	540	1,200
山中比叡平	63	33	30	5	-	1	4	-	3	-	1	1	-	-	-
長等	153	106	47	5	-	3	2	-	6	7	3	3	4	760	1,800
藤尾	102	40	62	8	-	3	5	-	2	-	3	-	-	-	-
逢坂	140	72	68	6	1	-	5	-	2	-	-	1	-	-	-
中央	101	67	34	2	1	1	-	-	2	3	1	10	3	1,000	1,100
平野	239	125	114	11	1	1	9	-	7	6	5	6	5	1,830	1,700
南消防署 計	1,156	519	637	78	3	9	66	-	20	34	82	7	8	1,500	5,300
膳所	236	124	112	9	2	1	6	-	3	8	5	-	7	1,500	2,800
富士見	130	44	86	11	-	1	10	-	2	6	2	2	-	-	-
晴嵐	273	126	147	10	1	1	8	-	5	8	29	3	1	-	2,500
石山	179	79	100	8	-	1	7	-	4	5	6	2	-	-	-
南郷	189	94	95	20	-	4	16	-	4	4	12	-	-	-	-
大石	149	52	97	20	-	1	19	-	2	3	28	-	-	-	-
東消防署 計	1,288	514	774	161	2	14	142	3	22	79	35	6	1	400	400
瀬田	199	61	138	25	-	3	21	1	4	11	1	1	-	-	-
瀬田北	220	77	143	13	1	1	11	-	3	1	6	1	-	-	-
瀬田南	240	89	151	23	1	2	20	-	4	11	7	1	1	400	400
瀬田東	219	102	117	31	-	3	26	2	3	13	2	3	-	-	-
田上	223	96	127	23	-	3	20	-	3	12	6	-	-	-	-
上田上	86	33	53	11	-	2	9	-	3	20	9	-	-	-	-
青山	101	56	45	35	-	-	35	-	2	11	4	-	-	-	-
総合計	6,307	2,572	3,735	548	14	49	476	9	119	214	179	72	76	11,703	50,900

消防局事業による耐震性貯水槽の設置状況

消防水利は大規模な震災を想定し、消火栓に偏ることなく地域の実情に応じて耐震性を有する消防水利を配置することと国からの告示により定められており、当消防局でも調査及び設計、並びに設置に向けての事業を行っています。

[令和5年4月1日現在]

	40m ³	60m ³	100m ³	計
平成22年度	-	-	-	0
平成23年度	1	1	-	2
平成24年度	-	-	-	0
平成25年度	3	1	-	4
平成26年度	-	-	-	0
平成27年度	4	-	-	4
平成28年度	-	1	-	1
平成29年度	-	-	-	0
平成30年度	-	-	-	0
令和元年度	1	-	-	1
令和2年度	-	-	-	0
令和3年度	1	-	-	1
令和4年度	1	-	-	1
合計	11	3	0	14

開発行為による消防水利の設置状況

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、「大津市開発許可制度に関する基準」及び「大津市消防水利等設置基準」に基づき、消防水利の指導を行っています。

[令和5年4月1日現在]

	消火栓	防火水槽
平成22年度	21	10
平成23年度	8	5
平成24年度	20	5
平成25年度	10	2
平成26年度	8	4
平成27年度	13	8
平成28年度	14	3
平成29年度	11	9
平成30年度	19	2
令和元年度	19	3
令和2年度	20	10
令和3年度	14	9
令和4年度	13	0

令和4年 救助概況

■ 事故種別出動件数・救助人員

項目	合計	事故種別									
		火災	交通事故	水難事故	山岳事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠	破裂事故	その他
出動件数(件)	328	53	48	24	39	-	6	86	-	-	72
救助人員(人)	155	3	25	14	42	-	5	52	-	-	14

■ 過去5年間 出動件数の推移

項目	合計	事故種別									
		火災	交通事故	水難事故	山岳事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠	破裂事故	その他
平成30年	234	37	52	18	30	-	2	46	-	-	49
令和元年	250	42	42	25	19	-	2	66	-	-	54
令和2年	290	53	33	27	33	-	1	85	-	-	58
令和3年	350	57	43	22	34	2	2	103	-	-	87
令和4年	328	53	48	24	39	-	6	86	-	-	72

■ 大津市の水難事故、山岳事故の傾向について

水難事故 計 24 件	転落	遊泳中	レジャー	自損	不明	その他
	3	1	7	3	10	-

救助人員	市内	市外	不明
	3	3	8

山岳事故 計 39 件	道迷い	転倒	滑落	急病	蜂刺され	その他
	23	2	4	2	-	8

救助人員	市内	市外	不明
	4	37	1

■ 署所別発生件数

署所	合計	事故種別									
		火災	交通事故	水難事故	山岳事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠	破裂事故	その他
北消防署	43	4	7	7	4	-	-	11	-	-	10
北消防署志賀分署	59	13	6	5	22	-	1	7	-	-	5
中消防署	67	7	13	2	2	-	1	20	-	-	22
中消防署西分署	37	8	9	-	1	-	1	16	-	-	2
南消防署	41	6	4	3	-	-	1	16	-	-	11
南消防署南郷出張所	17	1	3	1	-	-	1	4	-	-	7
東消防署	58	14	5	4	10	-	1	12	-	-	12
名神高速道路等	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
その他の地域	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
合計	328	53	48	24	39	-	6	86	-	-	72

国際消防救助隊年間教育訓練実施結果

月 日	内 容	場 所
5月 2・5・8・9日	令和3年度国際消防救助隊セミナー受講結果 伝達研修	中消防署
5月10・11・12・ 13・14日	国際緊急援助隊救助チーム総合訓練参加	兵庫県三木市
6月26・28日 7月7・11日	技術訓練 (ショアリング)	南消防署
7月12日	派遣シミュレーション訓練	消防局 中消防署
8月31日・9月1 日	国際緊急援助隊救助チーム補完訓練参加	東京都立川市
9月14・15・16日	国際緊急援助隊救助チーム メンテナンス会参加	千葉県成田市
9月14日	想定訓練 (ショアリング・ロープレスキュー・ブリーチング) 湖南広域消防局 合同訓練	野洲市・守山市
11月8・9・10・ 11・12日	国際緊急援助隊救助チーム IER受験参加	兵庫県三木市
11月18日	実践的訓練 (ブリーチング・ロープレスキュー) 湖南広域消防局・福井市消防局合同訓練	大津市内 解体予定建物
1月19日	技術訓練 (ショアリング・クリビング・CSR)	南消防署
1月 25・26・27日	国際消防救助隊連携訓練参加	熊本県熊本市
2月 20・21・22日	実践的訓練 (破壊器具取扱い・高所救助訓練)	大津市内 解体予定建物
2月 20・21・22日	国際消防救助隊セミナー参加	全国市町村国 際文化研修所 (大津市)
2月27・28日	大阪JDR連携訓練参加	大阪府堺市

水難救助年間訓練実施結果

月 日	内 容	場 所
4月25・26・27・28日	ドライスーツによる検索救助訓練	松の浦水泳場
5月17・18・20・25日	各種潜水検索要領習熟訓練	・松の浦水泳場 ・由美浜
7月5・6・7・8日	深度水域における検索救助訓練	近江舞子 中浜水泳場
9月12・13・15・16日	特殊環境下(滝つぼ・視界不良)における訓練	・比良山三の滝 ・大津放水路
10月27・28日	流水救助訓練 (県内消防本部1・県外消防本部4・県外警察本部による合同訓練)	瀬田川
11月28・29・30日	ドライスーツによる潜水基礎訓練 (県警機動隊との合同訓練)	滋賀県警機動隊潜水プール
12月 随時	水難救助指導員による内部研修 (潜水計画作成・事例検証・訓練振り返り)	各消防署
1月12・13日	外部講師による潜水活動研修 (潜水生理学・潜水資機材の取扱いについて)	中消防署
1月24・31日	泳力強化及び溺者救助	皇子が丘公園 プール
2月15・16日	消防局長査閲訓練 (水没不明者の潜水救助活動想定訓練)	松の浦水泳場

消防車両等配置別性能状況












[令和5年4月1日現在]

所属名	名称	車名	登録	ポンプ級別	形状等
消防局	局指令1	トヨタ	H20		乗用(3,000cc)
	局指揮1	トヨタ	H10		乗用(3,000cc)
	局指揮2	トヨタ	H24		4WD
	局広報1	日産	H21		ライトバン
	局装備1	ダイハツ	H28		軽バン4WD
	局査察1	スズキ	H24		軽バン4WD
	局バス1	日野	S63		大型バス(42名)
	局連絡1	トヨタ	R 5		ステーションワゴン(8名)
	局支援1	いすゞ	H25		支援車 I 型
	楽器搬送車	三菱	H10		フラットバン(2.0t積)
北消防署					
本署	北はしご1	三菱	H15	A-2	はしご車30m級
	北救助1	日野	R 4		救助工作車Ⅲ型4WD
	北タンク1	日野	H20	A-2	タンク車(2,000L)4WD
	北ポンプ1	日野	H17	A-2	ポンプ車4WD
	北指揮1	トヨタ	H28		指揮車4WD
	北救急1	トヨタ	R 3		高規格救急車4WD
	北資材1	いすゞ	H27		トラック(2.0t積)
	北水害対策1	いすゞ	H31		津波・大規模風水害対策車
	北広報1	トヨタ	H16		ライトバン4WD
	北査察1	スズキ	H15		軽バン4WD
	北警防1	ヤマハ	H17		バイク50cc
	小型動力ポンプ	トーハツ		B-3	可搬式
	小型動力ポンプ	シバウラ		B-2	可搬式
	救助艇	アキレス	H27		9.9PS(トーハツ)
	救助艇	アキレス	H31		20.0PS(トーハツ)
	救助艇(高機能)	MST	R 2		30.0PS(トーハツ)
	小型特殊車両	Argo	H31		8輪バギー
志賀分署	志賀タンク1	日野	H25	A-2	CAFS付タンク車(2,000L)4WD
	志賀救急1	トヨタ	H26		高規格救急車4WD
	志賀積載1	ダイハツ	H 9	B-3	小型ポンプ積載デッキバン4WD
	志賀資材1	いすゞ	H15		トラック(2.0t積)
	志賀広報1	日産	H17		ライトバン4WD
	志賀警防1	ホンダ	H15		バイク50cc
	小型動力ポンプ	トーハツ		B-3	可搬式
中消防署					
本署	中はしご1	日野	H28		はしご車35m級先端屈折水路管付
	中救助1	日野	H19		救助工作車Ⅱ型4WD
	中タンク1	日野	H23	A-2	CAFS付タンク車(2,000L)4WD
	中ポンプ1	三菱	H16	A-2	ポンプ車4WD
	中指揮1	トヨタ	H24		指揮車4WD
	中救急1	トヨタ	H28		高規格救急車4WD
	中資材1	三菱	H10		トラック(2.0t積)
	中広報1	トヨタ	H15		ライトバン
	中査察1	ダイハツ	H28		軽バン
	中警防1	ホンダ	H 4		バイク50cc

所属名	名称	車名	登録	ポンプ級別	形状等
	小型動力ポンプ 救助艇	トーハツ アキレス	H13	B-3	可搬式 9.9PS(トーハツ)
西分署	西ポンプ1 西救急1 西救急2 西資材1 西連絡1 西警防1 小型動力ポンプ	トヨタ トヨタ 日産 日産 ホンダ ヤマハ ラビット	H22 R 4 H30 H 9 H27 H 2	A-2	高圧噴霧付ポンプ車(600L)4WD 高規格救急車4WD 高規格救急車4WD トラック(1.25t積) 軽バン4WD バイク50cc 可搬式
水上出張所	消防艇(おおつ) 搭載艇 水上連絡1 水上警防1	軽合金19T アキレス 日産 ホンダ	H27 H23 H29 H 6	8000L	小型船舶、ウォータージェット推進器 15PS(ヤマハ) 軽バン バイク50cc
南消防署					
本署	南はしご1 南化学1 南救助1 南ポンプ1 南指揮1 南救急1 南救急2 南資材1 南広報1 南査察1 南警防1 小型動力ポンプ 救助艇	三菱 日野 日野 日野 トヨタ トヨタ トヨタ 三菱 ホンダ ダイハツ ヤマハ トーハツ アキレス	H12 R 3 H15 H25 H25 R 4 R 3 H11 H 9 H25 H16 H 4	A-2 A-2 A-2	はしご車24m級 化学車Ⅱ型CAFS付4WD 救助工作車Ⅱ型4WD CAFS付ポンプ車(600L)4WD 指揮車4WD 高規格救急車4WD 高規格救急車4WD トラック(2.0t積) ライトバン 軽バン4WD バイク50cc 可搬式 9.8PS(トーハツ)
南郷出張所	南郷ポンプ1 南郷救急1 南郷広報1 南郷警防1 小型動力ポンプ	日野 トヨタ トヨタ ヤマハ トーハツ	R 5 R 2 H18 H 5	A-2	ポンプ車(800L)4WD 高規格救急車4WD ライトバン バイク50cc 可搬式
東消防署					
本署	東はしご1 東タンク1 東ポンプ1 東救急1 東資材1 東広報1 東査察1 東連絡1 東警防1 小型動力ポンプ	日野 日野 日野 トヨタ いすゞ 三菱 スズキ マツダ ヤマハ シバウラ	H 9 H24 R 4 R 5 S62 H28 R 4 H 8 H 3 R 5	A-2 A-2 A-2 B-2	はしご車15m級 CAFS付タンク車(2,000L)4WD CAFS付ポンプ車(600L)4WD 高規格救急車4WD トラック(1.25t積) ステーションワゴン(8名) 軽バン ライトバン バイク50cc 可搬式
青山救急出張所	東救急2	トヨタ	R 2		高規格救急車4WD

車両種別一覧

[令和5年4月1日現在]

消防ポンプ自動車 6台	水槽付消防ポンプ自動車 4台	救助工作車 3台
		
【南郷ポンプ1】	【志賀タンク1】	【北救助1】
高規格救急自動車 10台	はしご付消防ポンプ自動車 4台	化学消防ポンプ自動車 1台
		
【東救急1】	【中はしご1】	【南化学1】
指揮車 4台	消防艇 1艘	広報車 7台
		
【北指揮1】	【消防艇おおつ(愛称:湖都風)】	【東広報1】
資機材搬送車 7台	支援車 1台	他の車両・バイク 24台
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 小型動力ポンプ積載車 1台 ・ 小型特殊車両 1台 ・ 消防バス 1台 ・ 査察車 5台 ・ 連絡車 3台 ・ 楽器搬送車 1台 ・ バイク 8台 ・ 人員搬送車等 4台
【北水害対策1】	【局支援1】	

令和4年 救急概況

救急出動の状況

■出動件数

令和4年中における救急出動件数は19,348件で、前年の16,531件と比較して2,817件増加しました。また、1日あたりの平均出動件数は53.0件で、これは1時間に2.2件出動したことになります。

■搬送人員

傷病者搬送人員も、17,435人となり、前年の14,922人と比較して2,513人増加しています。これは、市民の19.7人に1人が救急隊によって搬送されたこととなります。

■新型コロナウイルス感染症患者の搬送(移送)件数

令和4年中における搬送(移送)件数は862件(前年164件)であり、うち搬送後に陽性と判明したのは408件(前年46件)、大津市保健所又は滋賀県COVID-19災害コントロールセンターからの依頼による移送が85件(前年99件)でした。

区分	出動件数(件)			搬送件数(件)			搬送人員(人)		
	令和4年	令和3年	増減	令和4年	令和3年	増減	令和4年	令和3年	増減
合計	19,348	16,531	2,817	17,346	14,841	2,505	17,435	14,922	2,513
火災	60	51	9	6	8	△2	6	10	△4
自然災害	-	1	△1	-	-	-	-	-	-
水難事故	25	16	9	7	5	2	8	5	3
交通事故	1,050	1,027	23	909	890	19	961	950	11
労働災害	137	113	24	129	111	18	130	111	19
運動競技	148	123	25	142	117	25	144	120	24
一般負傷	3,037	2,636	401	2,791	2,444	347	2,795	2,449	346
加害	51	46	5	37	36	1	38	39	△1
自損行為	163	150	13	122	101	21	122	101	21
急病	13,361	10,952	2,409	12,144	9,999	2,145	12,171	10,007	2,164
その他	1,316	1,416	△100	1,059	1,130	△71	1,060	1,130	△70

過去5年間 出動件数及び現場到着と医療機関到着平均所要時間の推移

	出動件数	搬送件数	搬送人員	1日あたりの出動件数	覚知から現場到着までの平均所要時間	覚知から医療機関までの平均所要時間
平成30年	17,666 件	16,241 件	16,365 人	48.4 件	9分00秒	35分06秒
令和元年	17,879 件	16,284 件	16,420 人	49.0 件	8分48秒	32分34秒
令和2年	15,808 件	14,231 件	14,315 人	43.2 件	8分53秒	33分31秒
令和3年	16,531 件	14,841 件	14,922 人	45.3 件	9分13秒	34分26秒
令和4年	19,348 件	17,346 件	17,435 人	53.0 件	9分43秒	36分02秒

■事故種別[傷病程度別]搬送状況

事故種別	死亡	重症	中等症	軽症	合計	割合
火 災	1 人	- 人	- 人	5 人	6 人	0.03%
自然災害	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	-
水難事故	1 人	2 人	1 人	4 人	8 人	0.05%
交通事故	3 人	16 人	87 人	855 人	961 人	5.51%
労働災害	2 人	4 人	26 人	98 人	130 人	0.75%
運動競技	- 人	- 人	6 人	138 人	144 人	0.83%
一般負傷	5 人	74 人	583 人	2,133 人	2,795 人	16.03%
加 害	- 人	1 人	2 人	35 人	38 人	0.22%
自損行為	7 人	10 人	36 人	69 人	122 人	0.70%
急 病	92 人	297 人	3,478 人	8,304 人	12,171 人	69.81%
その他	- 人	25 人	1,003 人	32 人	1,060 人	6.08%
合 計	111 人	429 人	5,222 人	11,673 人	17,435 人	100.0%
割 合	0.64%	2.46%	29.95%	66.95%	100.0%	

死亡とは、救急隊が病院を引き揚げるまでに医師によって死亡と判断されたものをいう。
 その他とは、転院搬送等をいう。

■事故種別[年齢区分別]搬送状況

事故種別	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	割合
火 災	- 人	- 人	- 人	2 人	4 人	6 人	0.03%
自然災害	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	- 人	-
水難事故	- 人	- 人	2 人	5 人	1 人	8 人	0.05%
交通事故	- 人	22 人	77 人	636 人	226 人	961 人	5.51%
労働災害	- 人	- 人	- 人	106 人	24 人	130 人	0.75%
運動競技	- 人	- 人	108 人	36 人	- 人	144 人	0.83%
一般負傷	1 人	188 人	154 人	405 人	2,047 人	2,795 人	16.03%
加 害	- 人	- 人	2 人	30 人	6 人	38 人	0.22%
自損行為	- 人	- 人	8 人	99 人	15 人	122 人	0.70%
急 病	6 人	560 人	340 人	3,129 人	8,136 人	12,171 人	69.81%
その他	18 人	22 人	12 人	252 人	756 人	1,060 人	6.08%
合 計	25 人	792 人	703 人	4,700 人	11,215 人	17,435 人	100.0%
割 合	0.14%	4.54%	4.03%	26.96%	64.32%	100.0%	

- ・ 新生児 生後28日未満
- ・ 乳幼児 生後28日以上 満7歳未満
- ・ 少 年 満7歳以上 満18歳未満
- ・ 成 人 満18歳以上 満65歳未満
- ・ 高齢者 満65歳以上

■救命率の推移

	搬送人員	心停止傷病者数	救命人員	救命率	救命手当施行率
平成30年	16,365人	247(38)人	16(4)人	6.4(10.5)%	57.8%
令和元年	16,420人	278(43)人	28(7)人	10.1(16.3)%	55.5%
令和2年	14,315人	282(58)人	24(7)人	8.5(12.1)%	53.2(51.7)%
令和3年	14,922人	305(61)人	28(16)人	9.2(26.2)%	58.7(49.2)%
令和4年	17,435人	332(62)人	21(8)人	6.3(12.9)%	49.8(45.2)%

救命人員とは、1か月以上生存している人を指し、生存退院者や社会復帰者も含まれます。救命手当施行率は、心肺停止事故を目撃または発見した市民が、心肺蘇生法等の救命手当を実施していた率です。

()内は、心停止の原因が心原性で、かつ目撃があった傷病者を対象とした場合の値です。

■高度救命処置実施状況

救急救命士が実施した救急救命処置は、次のとおりです。

	心肺停止傷病者数	気道確保(LT等)	気管挿管	除細動	静脈路確保	アドレナリン投与	CPA前輸液	ブドウ糖投与
平成30年	263人	121件	90件	15件	190件	99件	104件	40件
令和元年	280人	108件	65件	17件	182件	93件	103件	32件
令和2年	295人	141件	54件	32件	139件	127件	67件	24件
令和3年	317人	207件	39件	33件	164件	136件	77件	33件
令和4年	348人	228件	38件	26件	192件	178件	95件	43件

平成26年4月1日から救急救命士法施行規則の一部が改正され、心肺停止前の傷病者に対し、静脈路確保及び輸液、さらに血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与が可能となり、10月1日から運用開始しました。

CPA前輸液の件数には、ブドウ糖溶液投与にかかる静脈路確保実施件数を含みます。

■救急隊員の資格

[令和5年3月31日現在]

資格種別	救急救命士	救急科	救急Ⅱ課程	救急Ⅰ課程	合計
人数	80人	187人	32人	4人	313人

※上記は再任用職員を除いた人数

[令和5年3月31日現在]

認定等種別	気管挿管認定 薬剤投与認定	薬剤投与認定	救急救命士	合計	指導救急救命士
隊員数	34人	29人	17人	80人	8人
救急隊配置	26人	18人	4人	48人	6人

■応急手当の普及

令和4年1月から令和4年12月までの実績は、次の表のとおりです。

講習種別	実施回数	修了者数
救命入門コース(90分コース) ()は、平成24年からの累計	106 回 (1,019 回)	3,112 人 (25,553 人)
救命入門コース(45分コース) ()は、平成24年からの累計	13 回 (128 回)	619 人 (6,390 人)
普通救命講習Ⅰ(AED講習・試験なし) ()は、平成18年からの累計	32 回 (2,584 回)	181 人 (68,222 人)
普通救命講習Ⅱ(AED講習・試験あり) ()は、平成18年からの累計	- 回 (450 回)	- 人 (7,620 人)
普通救命講習Ⅲ(主に新生児～小児を対象) ()は、平成24年からの累計	- 回 (212 回)	- 人 (3,358 人)
一般救急講習 ()は、平成6年からの累計	- 回 (1,423 回)	- 人 (54,917 人)
上級救命講習 ()は、平成6年からの累計	- 回 (62 回)	- 人 (833 人)
応急手当普及員講習 ()は、平成6年からの累計	- 回 (33 回)	- 人 (159 人)
普通救命講習(平成6年～平成19年で終了)	(2,041 回)	(49,171 人)

※平成12～28年度は、市立中学校における保健体育授業に参画し普通救命講習を実施。

(平成28年度までの中学生受講者数は48,308人)

平成29年度以降は中学生に対する救命入門コース(90分コース)に移行。

※平成18年から普通救命講習は、普通救命講習Ⅰに移行。

※平成24年5月から、救命入門コース(90分コース)を開始した。

※平成26年度から市立小学校における保健体育の授業に参画し、一般救急講習を実施。

平成28年7月11日からは、これを救命入門コース(45分コース)と位置づけています。

※実施回数・修了者数は、応急手当普及員による開催を含みます。



【早い認識と119番通報】



【呼吸をみる】



【絶え間ない胸骨圧迫】



【早い電気ショック】

■[署所別]AED貸出し状況(令和4年中)

署所	志賀分署	北消防署	西分署	中消防署	南消防署	南郷出張所	東消防署	合計
件数	0	11	3	6	4	0	4	28
割合	0.0%	39.3%	10.7%	21.4%	14.3%	0.0%	14.3%	100.0%